



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場会社名 シップヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3360 URL <http://www.shiphd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 CEO (氏名) 古川 國久  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 横山 裕司 (TEL) 06-6369-0130  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	89,440	37.2	1,740	△13.8	1,878	△19.7	858	△25.5
28年3月期第1四半期	65,192	26.6	2,018	59.3	2,338	52.0	1,152	101.9

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 787百万円(△37.1%) 28年3月期第1四半期 1,251百万円(92.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	17.07	—
28年3月期第1四半期	23.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	235,808	82,933	34.9
28年3月期	218,456	81,522	37.1

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 82,388百万円 28年3月期 80,994百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	55.00	55.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	56.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	177,000	32.4	4,100	△16.5	4,200	△21.1	2,200	△18.8	43.63
通期	418,000	36.2	15,800	12.5	16,100	9.2	9,400	6.2	186.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年3月期1Q	50,834,700株	28年3月期	49,640,700株
29年3月期1Q	235,568株	28年3月期	235,568株
29年3月期1Q	50,300,632株	28年3月期1Q	49,405,185株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府や日銀による金融政策等を背景に、雇用や所得環境が改善し緩やかな回復基調となりました。一方で中国をはじめとするアジア新興国経済の減速や英国の欧州連合（EU）離脱決定等による金融市場の混乱等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する医療業界におきましては、診療報酬、薬価改定が実施され、診療報酬全体として2008年度以来のマイナス改定となり、医療機能の分化・連携による地域包括ケアシステムの推進をより進める方針が打ち出されたことで、各医療機関も今後を見据えた対応を迫られることとなりました。

このような経済状況の下、当社グループにおきましては、4月の小西共和ホールディング株式会社との経営統合により、売上高は大幅な増収となりました。一方で、本件経営統合に伴うアドバイザー費用を計上したこと、償還価格改定、調剤報酬改定等の影響を受けたこと、及びプロジェクト案件の計上が例年にも増して下期偏重であること等により減益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は89,440百万円（前年同四半期連結累計期間比37.2%増）、営業利益は1,740百万円（前年同四半期連結累計期間比13.8%減）、経常利益は1,878百万円（前年同四半期連結累計期間比19.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は858百万円（前年同四半期連結累計期間比25.5%減）となりました。

セグメントごとの業績を示しますと次のとおりであります。

#### ① トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、病院完成案件が全体的に下期に偏重していることから、第1四半期における大型のプロジェクト案件及び工事を伴うメーカー案件の計上が昨年度に比べて少なくなりました。

この結果、売上高は15,172百万円（前年同四半期連結累計期間比21.9%減）、セグメント利益（営業利益）は958百万円（前年同四半期連結累計期間比18.3%減）となりました。

#### ② メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、小西共和ホールディング株式会社との経営統合により大幅に増収となりました。一方で、本件経営統合に伴うアドバイザー費用を計上したことや償還価格の改定等により減益となりました。

この結果、売上高は62,834百万円（前年同四半期連結累計期間比82.2%増）、セグメント利益（営業利益）は292百万円（前年同四半期連結累計期間比29.9%減）となりました。

#### ③ ライフケア事業

ライフケア事業におきましては、新規開設施設の入居が計画通り積み上がるとともに、赤字施設の運営改善、不採算デイサービス拠点の一部閉鎖等により収益が改善いたしました。

この結果、売上高は5,187百万円（前年同四半期連結累計期間比4.3%増）、セグメント利益（営業利益）は129百万円（前年同四半期連結累計期間はセグメント損失（営業損失）0百万円）となりました。

#### ④ 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、昨年度実施したM&Aや新規出店等が業績に寄与しましたが、調剤報酬改定の影響を受け減益となりました。

この結果、売上高は5,838百万円（前年同四半期連結累計期間比1.3%減）、セグメント利益（営業利益）は423百万円（前年同四半期連結累計期間比17.4%減）となりました。

#### ⑤ その他

その他におきましては、動物病院の運営及び理化学機器の販売は概ね計画通り進捗いたしました。

この結果、売上高は406百万円（前年同四半期連結累計期間比6.7%増）、セグメント利益（営業利益）は25百万円（前年同四半期連結累計期間比10.9%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は235,808百万円となり、前連結会計年度末と比べて17,351百万円増加いたしました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が10,117百万円減少した一方、現金及び預金が13,083百万円、商品及び製品が4,652百万円、土地が2,541百万円増加したこと等によるものであります。

負債は152,874百万円となり、前連結会計年度末と比べて15,941百万円増加いたしました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が3,178百万円、未払法人税等が1,963百万円減少した一方、短期借入金が9,684百万円、電子記録債務が6,914百万円、賞与引当金が965百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は82,933百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,410百万円増加いたしました。その主な要因は、配当金の支払により利益剰余金が2,717百万円減少した一方、資本剰余金が3,360百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が858百万円増加したこと等によるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は34.9%（前連結会計年度末比2.2ポイント減）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね当初予定通りに推移しており、平成28年5月13日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

#### (追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	36,255	49,338
受取手形及び売掛金	78,302	68,184
電子記録債権	1,862	1,922
リース投資資産	4,172	4,124
商品及び製品	8,074	12,726
仕掛品	1,763	2,069
原材料及び貯蔵品	982	1,024
その他	8,809	10,813
貸倒引当金	△84	△78
流動資産合計	140,137	150,127
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	12,888	14,709
土地	12,401	14,942
建設仮勘定	2,593	2,934
賃貸不動産(純額)	12,410	12,651
その他(純額)	3,429	3,564
有形固定資産合計	43,723	48,802
<b>無形固定資産</b>		
のれん	11,323	11,938
その他	979	1,163
無形固定資産合計	12,302	13,102
<b>投資その他の資産</b>		
長期貸付金	10,098	10,010
その他	14,576	16,152
貸倒引当金	△2,430	△2,427
投資その他の資産合計	22,244	23,735
固定資産合計	78,270	85,640
<b>繰延資産</b>		
株式交付費	48	40
繰延資産合計	48	40
資産合計	218,456	235,808

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	71,074	67,895
電子記録債務	10,058	16,973
短期借入金	1,615	11,300
未払法人税等	3,255	1,291
賞与引当金	1,532	2,497
その他	11,569	14,983
流動負債合計	99,105	114,941
固定負債		
社債	2,050	2,050
長期借入金	29,168	28,529
退職給付に係る負債	2,080	2,265
資産除去債務	326	356
その他	4,201	4,731
固定負債合計	37,827	37,933
負債合計	136,933	152,874
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,553	15,553
資本剰余金	20,356	23,716
利益剰余金	44,366	42,507
自己株式	△448	△448
株主資本合計	79,828	81,329
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,082	1,033
為替換算調整勘定	136	77
退職給付に係る調整累計額	△52	△51
その他の包括利益累計額合計	1,166	1,058
非支配株主持分	528	545
純資産合計	81,522	82,933
負債純資産合計	218,456	235,808

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	65,192	89,440
売上原価	57,591	80,246
売上総利益	7,601	9,194
販売費及び一般管理費	5,582	7,453
営業利益	2,018	1,740
営業外収益		
受取利息	77	81
受取配当金	46	69
負ののれん償却額	60	60
持分法による投資利益	19	12
貸倒引当金戻入額	91	25
その他	133	132
営業外収益合計	428	381
営業外費用		
支払利息	72	81
為替差損	6	90
その他	30	72
営業外費用合計	108	244
経常利益	2,338	1,878
特別利益		
投資有価証券売却益	0	88
補助金収入	4	—
その他	0	0
特別利益合計	4	88
特別損失		
投資有価証券評価損	220	28
その他	5	15
特別損失合計	226	44
税金等調整前四半期純利益	2,117	1,921
法人税、住民税及び事業税	1,000	1,296
法人税等調整額	△61	△269
法人税等合計	938	1,026
四半期純利益	1,178	895
非支配株主に帰属する四半期純利益	25	36
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,152	858



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	1,178	895
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75	△49
為替換算調整勘定	6	△59
退職給付に係る調整額	△7	1
その他の包括利益合計	73	△107
四半期包括利益	1,251	787
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,225	750
非支配株主に係る四半期包括利益	25	36

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	19,439	34,481	4,975	5,914	64,810	381	65,192	—	65,192
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	321	42	13	—	378	6	384	△384	—
計	19,760	34,524	4,989	5,914	65,189	387	65,576	△384	65,192
セグメント利益 又は損失(△)	1,174	417	△0	513	2,104	22	2,127	△108	2,018

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△108百万円には、セグメント間取引消去19百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△118百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	トータル パック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	15,172	62,834	5,187	5,838	89,034	406	89,440	—	89,440
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	705	611	3	458	1,778	5	1,784	△1,784	—
計	15,878	63,446	5,190	6,297	90,812	412	91,224	△1,784	89,440
セグメント利益	958	292	129	423	1,804	25	1,829	△88	1,740

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△88百万円には、セグメント間取引消去△7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△82百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、小西共和ホールディング(株)を取得し、連結の範囲に加えております。

当該事象により「メディカルサプライ事業」セグメントにおいて、前連結会計年度の末日に比べ資産が42,607百万円増加しております。

## 3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結累計期間において、小西共和ホールディング(株)を取得し、連結の範囲に加えております。

当該事象による「メディカルサプライ事業」セグメントにおけるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては1,066百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。